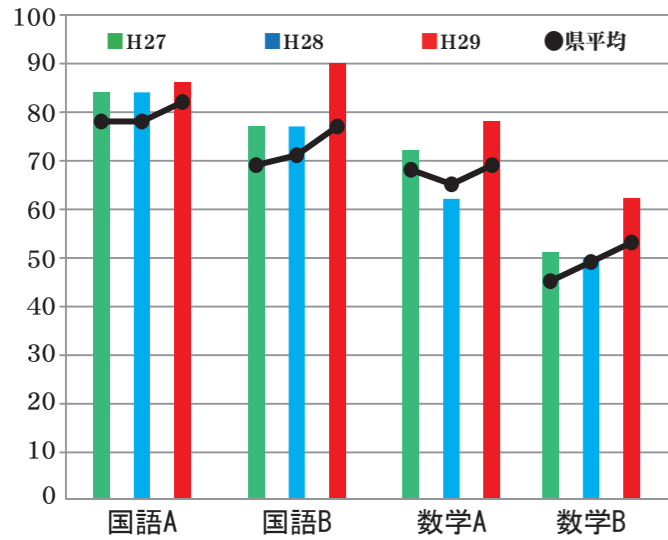
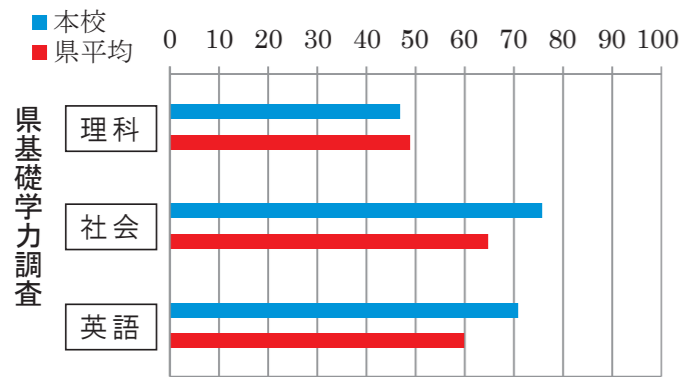
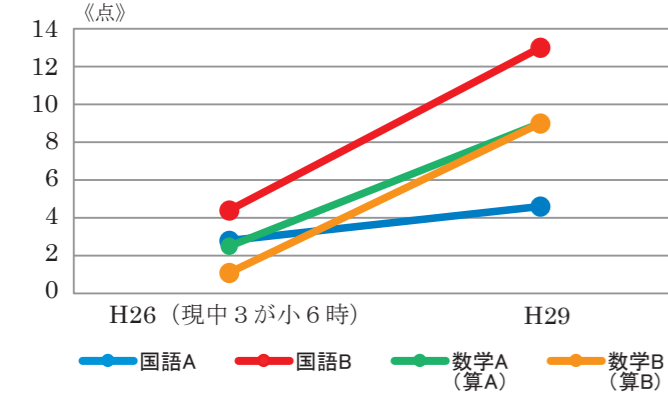


# ○検証

【全国学力学習状況調査結果】3年間の比較



【県平均との差】



# ○成果

- 3年間の確実な学力の伸びがみられる。特に現3年生においては、顕著な成績の伸びが見られる。
- 国語・数学とも活用力が10ポイント以上上回り、グループ活動で説明力・記述力が向上したと考える。また、問題に適切に対応することができている。
- グループ活動が学習への意欲と向上に結びついている。
- 学校生活や地域活動で自己肯定感が高まっている。

全国学力学習状況調査 質問紙 (単位%)

質問項目	H27	H28	H29 (4月)	H29 (7月)
表現 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ	44	89	32	59
予習 学校の授業の予習をしている	70	96	100	100
BU 授業では、生徒間で話し合う活動をよく行っていたと思う	93	100	96	100
BU 生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	74	89	73	91
振り返り 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う	67	100	86	73

全校 学習・生活アンケート (単位%)

質問項目	H27	H28
表現 発表で自分の考えを分かりやすく、相手に理解させることができる	73	73
予習 自分で考えた予習をしている	32	60
予習 各教科から出された予習で次の授業が楽しみになる	50	50
BU グループでの学び合いで、考えが広がったり、深まったりしたと感じる	90	85
BU 授業での学び合い(ペアや班活動など)で磨きあげられている	97	92
振り返り 自己のがんばりや変容を振り返ることができている	95	85
自分の将来に対して夢や希望を持っている	63	72
キャリア教育 将来(いつか)地元にもどって働き(生活)したいと思う	63	73
キャリア教育 将来、この地に合った職業を工夫したり、新しく開拓してみたい	62	62
東陽中の生徒であることに誇りを感じる	95	97

# ○課題

- ▲予習への意識は高まっているが、内容や質の向上を高める必要がある。
- ▲グループ活動の効果は高いが、自分の意見を工夫して、発表につなげる発信力や、自己の目標実現のための創造力を更に伸ばしていきたい。
- ▲生徒が言語化した自己の変容を、授業の中で確実に共有し、学習内容の定着や次の学びへの意欲につなげる。

平成29年度 石川県教育委員会指定 能動的学習推進事業

# 研究発表会

## 研究主題

一人ひとりを大切にし、  
未来を切り拓いていく資質・能力を育む指導の充実  
～ 授業改善を軸にした、能動的教育活動の推進 ～



平成29年10月23日(月)

輪島市立東陽中学校